

# 北陸地区



## 本吉達郎

北陸地区代表

### ●主な活動団体（普及委員会関係）

- ・北陸ビブリオバトル
- ・石川県立図書館
- ・石川県立大学
- ・金沢大学
- ・新潟ビブリオバトル部

## 北陸ビブリオバトル（富山） 活動報告書



本吉 達郎(北陸地区-富山県)

E-mail: motoyosh@pu-toyama.ac.jp

北陸ビブリオバトル（富山県）では下記のビブリオバトル開催のサポートをいたしました。

### 全国大学ビブリオバトル 2014～京都決戦～ 地区予選（富山）

・地区予選 in 富山県立図書館

主催：北陸ビブリオバトル

日時：2014年9月24日 13時30分

場所：富山県立図書館

出場者数：6名

チャンプ本：鹿島田 真希：来たれ、野球部

#### 本／出場者一覧

著者	タイトル	氏名	所属
鹿島田 真希	来たれ、野球部	荒井 健次	富山県立大工学部4年
東野 圭吾	天空の蜂	淵上 朋也	富山県立大工学部4年
森見 登美彦	太陽の塔	関野 静香	富山県立大工学部3年
柳田 理科雄	空想科学読本1	小牧 泰斗	富山県立大工学部4年
氏家 秀太	なぜかいつも満席の居酒屋のおやじがやっている「つかみ方」	黒澤 進太郎	富山県立大学院工学研究科1年
サイモン・シン	暗号解読	八島 悠貴	富山県立大工学部4年

・地区予選 in 富山県立大学

主催：北陸ビブリオバトル

日時：2014年10月16日 18時00分

場所：富山県立大学 A307 教室

出場者数：4名

チャンプ本：森見 登美彦：太陽の塔

#### 本／出場者一覧

著者	タイトル	氏名	所属
森見 登美彦	太陽の塔	関野 静香	富山県立大工学部3年
千田 琢磨	ボクのインプット！アウトプット法	山内 智晶	富山県立大工学部4年
ジョージ・オーウェル	動物農場	横井 聡	富山県立大工学部4年
大今 良時	聲の形	浅井 康平	富山県立大工学部3年

### 全国大学ビブリオバトル 2014～京都決戦～ 北陸地区決勝（福井・石川・富山）

・地区決勝

主催：北陸ビブリオバトル

日時：2014年10月19日 13時30分

場所：石川四高記念文化交流館

出場者数：7名（準決勝7名，決勝4名）

チャンプ本：鹿島田 真希：来たれ、野球部

#### 本／出場者一覧（準決勝）

著者	タイトル	氏名	所属
穂村 弘	もしもし、運命の人ですか	荒井 健次	富山県立大工学部4年
ハワード S. ベッカー	アウトサイダーズ	渡辺 健太郎	金沢大学人文学部3年
森山 晋平	名作アニメの風景50	甲野 真莉子	石川県立大学生物資源環境学部2年
小泉 武夫	不味い	長内 藍	金沢大学法学部3年
シェル・シルヴァスタイン	The Giving Tree - 大きな木	内藤 真八郎	福井大学工学部1年
森見 登美彦	四畳半神話体系	関野 静香	富山県立大工学部3年
米原万里	旅行者の朝食	森岡 春香	金沢大学人文学部1年

本/出場者一覧 (決勝)

著者	タイトル	氏名	所属
小泉 武夫	不味い	長内 藍	金沢大学 法学類3年
森山 晋平	名作アニメの風景50	甲野 真莉子	石川県立大学 生物資源環境学部 2年
鹿島田 真希	来たれ 野球部	荒井 健次	富山県立大 工学部4年
谷岡 一郎	「社会調査」のウソ -リサーチ・リテラシーのすすめ-	渡辺 健太郎	金沢大学 人文学類3年

カターレ富山の選手と大学生のビブリオバトル

主催：富山県自主研究グループ「ブックコミュニケーショングループ」

日時：2015年3月5日 15時00分

場所：MAG.net 富山まちなか研究室

出場者数：12名

準決勝8名(大学生)、決勝6名(うち大学生4名、カターレ富山選手4名)

チャンプ本：森見 登美彦：恋文の技術

※ 本/出場者一覧は割愛いたします。



出場者のみなさま

「ビブリオバトル普及委員」名称利用申請

上田 敬太郎 (北陸地区)

石川県立図書館所属

連絡先【[kei2@muh.biglobe.ne.jp](mailto:kei2@muh.biglobe.ne.jp)】



1. はじめに

私は石川県立図書館に所属しているが、平成24年度に石川県内公共図書館初としてビブリオバトルを開催した。平成24年度に3回、25年度に5回ビブリオバトルを開催した。

2. 平成26年度の活動

平成26年度石川県立図書館でビブリオバトルを4回開催した。

4月26日(土)「目からうろこの図書館サービス ～石川県立図書館展」に合わせて石川県庁19階展望ロビーで「ビブリオバトル in 石川県庁19階展望ロビー」を開催し、司会をした。テーマは「大人も楽しめる子どもの本」で発表者は4名、参加者は43名だった。チャンプ本には『ルドルフとイッパイアッテナ』(斉藤洋/作)が選ばれた。

8月22日(金)夜「真夏の夜のビブリオバトル」を開催し、司会をした。テーマは「こわい本」で、蝋燭の灯りのもとで6名の発表者が発表した。参加者は50名。チャンプ本には『怪談24の恐怖』(三浦正雄/編)が選ばれた。

12月21日(日)「第11回ビブリオバトル」を「心があたたまる本」というテーマで開催し、運営に携わった。発表者は6名、参加者は38名だった。参加者6名のうち5名が高校生で、フレッシュな発表となった。スペシャル・ゲストとして高校生大会の代表による発表もあった。チャンプ本には『頭のうちどころが悪かった熊の話』(安東みきえ/作 下和田サチヨ/絵)が選ばれた。

1月21日(水)七尾市立図書館で七尾市立小中学校の司書を対象にビブリオバトルの研修会の講師をした。ビブリオバトルの説明をし、参加者によるミニビブリオバトル体験を開催した。ビブリオバトルの楽しさを知ってもらえたと思う。

3月15日(日)「第12回ビブリオバトル」高校生大会を開催し司会をした。発表者は5名、参加者は24名だった。チャンプ本には『孤独な散歩者の夢想』(ルソー/著 永田千奈/訳)が選ばれた。高校生によるビブリオバトルはとても好評である。

上記以外に個人として金沢ミステリ倶楽部で年1回開催しており、今年で3回目になるビブリオバトルを3月14日(土)に開催した。参加者10人で5人ずつ2回戦を行い、『推理小説雑学事典』(中村勝彦/監修)、『悪女について』(有吉佐和子/著)、『僕のメジャー Spoon』(辻村深月/著)、『虹の歯ブラシ』(早坂吝/著)の4冊がチャンプ本に選ばれ



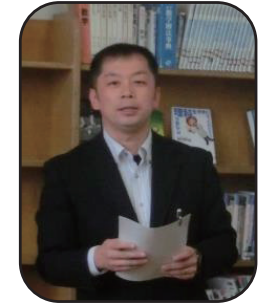
た。

### 3. 今後について

平成 27 年度も石川県立図書館においてビブリオバトル数回開催する予定である。夏の夜のビブリオバトルが好評だったので、来年度もやってみたい。金沢ミステリ倶楽部のビブリオバトルも恒例になっているので、年度末に開催する。

## 中学生とおとなでビブリオバトル！～2014 年度の取り組み～

東 雅宏（北陸地区）



PTA として関わっています白山市立松任中学校で、「中学生とおとなでビブリオバトル！」を行っています。中学生が日頃から考えていることや思いをおとなとして共有していきたいという、PTA の思いから 2013 年度にスタートし、2 年目となりました。

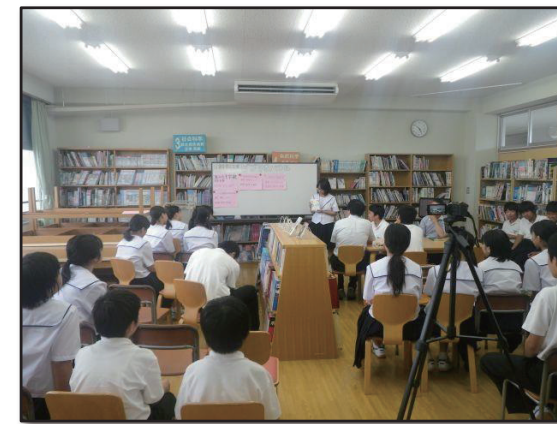
生徒会の組織改選に合わせて年度の前半と後半に 1 回ずつの開催ですが、生徒やおとなが自分の思いを伝え合い、生徒同士や生徒とおとな間で「顔の見える関係」を作っていくことが徐々にできてきているように感じます。また、中学校内でも、学校図書館での本の紹介や生徒主催のミニ・ビブリオバトル開催も行われ、関心が高まっています。



2014 年度 1 回目開催の様子



2014 年度 2 回目開催の様子



生徒主催の「ミニ・ビブリオバトル」開催



学校図書館でも随時紹介

2014 年度のビブリオバトル結果	
開催日	2014 年 5 月 23 日(金)
参加者	約 60 人
発表者	5 人(中学生 3 人、おとな 2 人)
チャンプ本	『英雄の書』(宮部みゆき)
開催日	2014 年 10 月 23 日(木)
参加者	約 60 人
発表者	6 人(中学生 3 人、おとな 3 人)
チャンプ本	『マイ国家』(星新一)

松任中学校の概要  
 生徒数 856人  
 PTA会員数 837人  
 (うち、教職員数51人)

## 石川県立大学 2014 年度活動のまとめ

新村 知子（北陸地区）  
shimmura@ishikawa-pu.ac.jp

石川県立大学では、前期にポケットゼミ（単位に関係のない授業）として 6 名のメンバーで 3 回、ビブリオバトルを開催し、後期には、参加人数を増やして、以下のように実施しました。

### 1回目 10月6日（月） 参加 13名

今年度の初めての公開ビブリオバトルはマンガと本の2つの部門に分けて実施され、マンガ部門では6名、本部門では7名のバトラーが参加しました。投票の結果、マンガの部門では『式の前日』、本の部門では『名作アニメの風景 50』がチャンプ本になりました。そして、本の部門でチャンプ本を得た学生が 10 月 19 日（日）に四高記念文化交流館で行われた全国大学ビブリオバトル北陸ブロック地区決戦へ出場することになりました。



### 2回目 10月19日（土） 本学からの参加 8名

全国大学ビブリオバトル 2014 北陸ブロック地区決戦（石川四高記念文化交流館）に上記の予選で決まった本学代表 1 名が参加し、応援に本学から 7 名が参加しました。北陸ブロックの各県内予選を勝ち抜いた 7 名がバトラーとして参加しましたが、残念ながら本学の学生はチャンプ本を逃しました。

### 3回目 10月25日（土） 参加 22名（学外含む）

響緑祭（大学祭）のイベントとして公開ビブリオバトルを開催しました。6名のバトラーがプレゼンをし、地元の図書館職員など学内外から多くの参加者がありました。この時

のチャンプ本は『いのちをいただく』になりました。熱心な学外の方からのコメントや質問も多く、たくさんの刺激をもらいました。

### 4回目 12月20日（土） 本学からの参加 9名

金沢大学との合同ビブリオバトル・両大学学生交流会を金沢大学中央図書館にて開催しました。本学からはバトラー 4 名が参加し、金大の学生とのビブリオバトルを行い、本学の学生が『蜘蛛女のキス』でチャンプ本を得ました。その後、両大学の学生と一緒に学食で昼食を取り、金大のキャンパスを見学しました。参加者アンケートなどによれば、本学の学生たちはこの交流活動に強い印象を受け、とても充実した活動だったと述べています。

### 5回目 1月15日（土） 参加 15名

今年度最後のビブリオバトルには、バトラーが 6 名参加しました。ビブリオバトルを初めて観るといふ学生が 3 名参加しました。この時のチャンプ本は、『Batman Mad Love』になりました。最後に、全員が今年度続けて参加してきたビブリオバトルの活動についてコメントしました。以下の通りです。

- ・何回かやってみて、緊張しないで話せるようになったので、話す練習になったと思う。
- ・何回やっても慣れないけれど、ビブリオバトルを見に来るだけで、なぜこの本を選んだのかとか、話し方とか、いろいろ参考になる。
- ・普段は本を読まないけれど、ここに来ると本を読みたいという気持ちになる。
- ・マンガの紹介を聞いて、自分では読まない新しいジャンルの本を読みたいとなった。
- ・人前で話すのが苦手だったが、やってみてよかった。金大でやったのは特に良かった。
- ・今までマンガしか紹介していないが、次回機会があれば、活字の本を紹介したい。
- ・自分の紹介したい本を語る機会がないので、とても良い。自分が読まないジャンルの本について話を聞くのがおもしろい。
- ・何回か参加してコツがわかってきたので、次はチャンプ本をゲットして賞品をねらいたい。
- ・前回うまく行かなかったなので、次回リベンジしたい。

学生たちはビブリオバトルに何回も参加することで、自分の話し方や視点の変化や仲間の成長などに気づいたようです。多面的な学びや知的好奇心の広がりを期待して、来年度も継続してビブリオバトルを開催していきたいと考えています。